

(様式第 11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
角膜における細胞外ドメインシエディングを紹介した病態生理機構の解明	崎元暢	眼科	117 万円	補 科学研究費・若手研究 (B)
高温環境下での血管内皮細胞傷害伸展因子-高グルコース濃度の影響	木下浩作	救命センター	330 万円	補 科学研究費補助金基盤研究 (C)
自然災害発生後の 2 次的健康被害発生予防及び裕有事における健康危機管理の保健所等行政機関の役割に関する研究	木下浩作	救命センター	60 万円	補 厚生労働省補助金 (健康科学総合研究事業)
熱中症による多臓器不全伸展機序-特に高温強化での高血糖の影響	木下浩作	救命センター	100 万円	補 日本大学医学部同窓会 60 周年記念医学部奨励金
グルコサミン・ヒアルロン酸内服による自然発症関節性マウスへの影響	龍唄之助	整形外科	100 万円	委 生化学工業株式会社
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	徳橋泰明	整形外科	100 万円	補 厚生労働省 科学研究費
光工学技術と体内埋設型刺激デバイスを用いた脳機能異常の分析と制御 1. ヒト脳組織の光学的特性の測定と脳機能の可視分光法による計測 2. 光工学技術と体内埋設型刺激デバイスによるヒト神経回路機能の分析 3. 光工学技術と体内埋設型刺激デバイスによるヒト神経回路の制御の参加プロジェクト「運動機能の評価と術後のリハビリテーションの効果判定」(プロジェクトでの役割 研究の整形外科的推進)	徳橋泰明	整形外科	25 万 7608 円	補 文部科学省 産学連携研究推進事業
高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究	吉田行弘	整形外科	120 万円	補 厚生労働省 科学研究費
治療不応性虚血性心疾患に対しての逆行性冠静脈骨髄単核細胞移植治療	高山忠輝	循環器内科	286 万円	補 平成 19 年度 科学研究費補助金基盤研究 (C)
味覚傷害例の舌における味覚受容体遺伝子発現から見た味覚障害の病態解明	池田稔	耳鼻咽喉科	70 万円	補 科学研究費基盤研究 (C)

注 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
味覚傷害の新しい診断法 (ScReP) の開発とその応用	池田稔	耳鼻咽喉科	570万円	補 日本大学学術研究助成金
血管病発症・阻止機構に関わる血流下内皮細胞発現因子の網羅的解析	三俣昌子	病理診断科	1299万円	補 日本大学 平成19年度学術助成金[総合研究]
歯周病によるメタボリック症候群関連疾患の誘発機序の解明とその制御	三俣昌子	病理診断科	100万円	補 平成19年度学術フロンティア研究
健康日本21 こころの健康づくりの目標達成のための休養・睡眠のあり方に関する根拠に基づく研究	内山真	精神神経科	550万円	補 厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)
精神疾患に合併する睡眠障害の診断・治療の実態把握と睡眠医療の適正化に関する研究	内山真	精神神経科	125万円	補 厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)
インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動の情報収集に関する研究	内山真	精神神経科	-	補 厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)
候補遺伝子と統合失調症の相関と、それらの遺伝子と探索眼球運動や陰性症状との関係	高橋栄	精神神経科	377万円	補 科学研究費補助金(基盤研究(C))
新しいTIPS用modified covered stentの開発	高橋元一郎, 吉橋哲, 吉信尚	放射線科	143万円	補 科学研究費基盤研究(C)
電子線利用研究施設の放射光(パラメトリックX線)を利用した生体高分子タンパク質の結晶構造(VI)と医学生物的研究	高橋元一郎, 奥畑好孝, 齋藤勉	放射線科	60万円	補 日本大学量子科学研究所平成19年度共同研究
単色X線の培養細胞に及ぼす放射線損傷の研究	高橋元一郎, 齋藤勉	放射線科	40万円	補 平成19年度学術フロンティア推進事業

注1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
前立腺がんのリスク評価と化学	高橋 悟	泌尿器科	80万円	補	平成19年度化学研究費補助金
呼吸不全に関する調査研究	赤柴 恒人	睡眠センター	100万円	補	厚生労働省 科学研究費
健康づくりのための休養や睡眠のあり方に関する研究	赤柴 恒人	睡眠センター	120万円	補	厚生労働省 科学研究費
腎芽腫に関わる遺伝子異常の特性解明と遺伝子サイレンシングに関する研究	草深 竹志	小児外科	169万円	補	科学研究費補助金 基盤研究C
小腸移植拒絶反応制御を目的とした集学的治療の確立	杉藤 公信	小児外科	234万円	補	科学研究費補助金 基盤研究C
小児がん治療患者の長期フォローアップとその体制整備に関する研究	草深 竹志	小児外科	100万円	補	厚生労働省 科学研究費補助金
治療過程管理を導入した小児横紋筋肉腫に対する臨床試験と遺伝子解析研究	草深 竹志	小児外科		補	科学研究費補助金 基盤研究A
癌感受性遺伝子探索、機能解析、標的評価、新規治療開発、臨床試験を一環的に研究する拠点推進プロジェクト	草深 竹志	小児外科		補	文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業フロンティア推進事業
腎性貧血治療薬開発における臨床評価ガイドライン等の作成に関する研究	岡田 一義	腎臓・高血圧・内分泌内科	300万円	補	厚生労働省 科学研究費補助金
進行性腎障害に対するPIポリアミドによる遺伝子治療の開発	松本 絏一	腎臓・高血圧・内分泌内科	705万円	補	日本大学学術助成金(総合研究)

注1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
難治性ネフローゼ症候群	松本絃一	腎臓・高血圧・内分泌内科	18万円	委	厚生労働省 科学研究費助成金
低出生体重時に対する適正人工乳の開発に関する臨床的研究	細野茂春	新生児病科	113万円	補	平成20年度日本大学医学部創立50周年研究奨励金(共同研究)
維持血液透析患者における血清マンノース結合レクチンの形態と役割	里村厚司	臨床検査医学科	79万円	補	日本大学
慢性腎不全(透析療法未施行)・維持血液透析患者における免疫能の検討-血清マンノース結合レクチンの形態と役割を中心に-	里村厚司	臨床検査医学科	100万円	補	日本大学
遺伝子多型検索による高血圧個別化診療の確立に関する研究	相馬正義	総合科(内科担当)	100万円	補	厚生労働省化学研究費
降圧治療および抗凝固療法の個人の特性に応じたテーラーメイド治療確立の研究	相馬正義	総合科(内科担当)	50万円	補	厚生労働省化学研究費

注1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

計 36 件

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jan J Ophthalmol 51:100-104, 2007	Soluble IL-6 receptor in vitreous fluid of patients with proliferative diabetic retinopathy	Kawashima M, Shoji J, Nakajima M, Kamura Y, Sato Y	眼科
Jpn J Ophthalmol 51:332-337, 2007	Concentration of soluble interleukin-6 receptors in tears of allergic conjunctival disease patients	Shoji J, Kawaguchi A, Gotoh A, Inada N, Sawa M	眼科
Jpn J Ophthalmol 51:338-342, 2007	Evaluation of total and allergen-specific secretory IgA in tears of allergic conjunctival disease patients	Inada N, Shoji J, Hoshino M, Sawa M	眼科
Jpn J Ophthalmol 51:343-346, 2007	Upregulation of matrix metalloproteinase in tear fluid of patients with recurrent corneal erosion	Sakimoto T, Shoji J, Yamada A, Sawa M	眼科
眼科 49 : 211-215, 2007	カッターナイフによる小児の穿孔性眼外傷の1例	川島美和子, 中島正巳, 崎元丹, 三井正博, 遠藤純子	眼科
眼科 49 : 357-361, 2007	両眼の壊死性強膜炎の1例	岡島泰彦, 稲田紀子, 澤 充, 北村登白, 岩秀隆, 松川吉博, 武井正美	眼科
眼科 49 : 1095-1100, 2007	フレアメーター (FM-600) の有用性の検討 フレアメーター (FM-500) との臨床比較試験	澤 充, 嘉村由美, 中島正巳, 三井正博, 崎元 丹, 岡島泰彦	眼科
眼科 49 : 1101-1110, 2007	抗体アレイ法を用いたアレルギー性結膜炎におけるサイトカインプロファイルの検討	庄司 純, 後藤亜希, 川口敦里, 稲田紀子, 澤 充	眼科
眼科 49 : 1229-1234, 2007	Immune recovery uveitisの1例	荒川正子, 中島正巳, 岩田光治, 内山昌明, 室本圭子, 澤田滋正	眼科
眼科 49 : 1725-1728, 2007	高齢者に認めた結膜MAL Tリンパ腫に対し経過観察を行った一例	崎元 暢, 金丸峯男	眼科

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
日コレ誌 49:35-43, 2007	シリコンハイドロゲルレンズ (HiDk)の臨床試験報告	忍田太紀, 伏見紀子, 澤 充, 土至田宏, 太田亜紀, 工藤大介, 高橋康造, 村上 晶	眼科
眼科 49:111-126, 2007	結膜の展望 2003年度	崎元 暢	眼科
東京都医師会雑誌 60:1946-1954, 2007	緑内障性乳頭陥凹の診方	山崎芳夫	眼科
日本の眼科 79:159-160, 2008	自動視野計による緑内障性視野変化の長期経過の評価	山崎芳夫	眼科
眼科 50:291-303, 2008	緑内障の視野検査	山崎芳夫	眼科
眼科 50:197-200, 2008	角膜周辺部浸潤を合併した川崎病の1例	菅谷哲史, 崎元暢, 澤 充	眼科
眼科 50:89-96, 2008	小児の眼部帯状疱疹の2症例	川口敦里, 稲田紀子, 庄司 純, 澤 充	眼科
日コレ誌 50:84-87, 2008.	ソフトコンタクトレンズにおける生物学的汚れに関する検討	高浦典子, 稲田紀子, 庄司 純, 澤 充	眼科
Hepatogastroenterology. 2007 Jul-Aug;54(77):1462-6.	Changes in glucagon processing occurring in the intestines of surgically stressed patients.	Tanjoh K	救命救急センター
Hepatogastroenterology. 2007 Apr-May;54(75):927-31.	The expression of the inducible nitric oxide synthase messenger RNA on monocytes in severe acute pancreatitis.	Tanjoh K	救命救急センター

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intensive Care Med. 2008 Jan;34(1):109-15.	Hyperglycemia and lipopolysaccharide decrease depression effect of interleukin 8 production by hypothermia: an experimental study with endothelial cells.	Noda A	救命救急センター
NinonUniv. J. Med. 49 (3): 73-83, 2007	Systemic responses following severe brain damage.	Kinoshita K	救命救急センター
Neurol Res. 29:47-52, 2007	Inhibition of lipopolysaccharide stimulated interleukin-1beta production after subarachnoid hemorrhage.	Kinoshita K	救命救急センター
J Surg Res. 2008 Jan:144(1):127-31.	Interleukin-8 production from human umbilical vein endothelial cells during brief hyperglycemia: The effect of tumor necrotic factor alpha.	Kinoshita K	救命救急センター
蘇生 27: 27-32, 2008	心肺停止蘇生後患者に対する重症度判断と脳低温療法の効果予測	木下浩作	救命救急センター
日集中医誌 15:151-152, 2008	脳低温療法: いかに冷やすか	木下浩作	救命救急センター
日本手の外科学会雑誌 23(5):666	Mirror Handの治療経験	長尾聡哉	整形外科
Journal of Hand Surgery 32B:210-213, 2007: 4	Triggering at the distal A2 pulley	Nagaoka Masahiro	整形外科
膝 31829:253-257, 2007. 5	スポーツによる両膝前十字靭帯損傷例の顆間窩横径比に関する検討	布袋屋浩	整形外科
日本手の外科学会雑誌 23(6):978-982, 2007	遠位橈尺関節症による伸筋腱皮下断裂の検討	長尾恵	整形外科

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。